

大田小の3年生が考えた地域食材を使用したパンが 2/17(土)に大田公民館まつりで販売されます

大田小学校3年生が「総合的な学習の時間」に考えたパンが、大田公民館まつりで販売されます。

大田小学校では、1年をかけて小麦を育てる活動をしており、今回販売されるパンは、地域の食材を使ったオリジナルパンを作りたいという、子どもたちの想いやアイデアを、地元パン屋「ムール ア ラムール」本杉シェフが商品化し、実現されたものです。

パンは、子どもたちがプレゼンした様々なアイデアを元に作られており、大田地区の「大」が入ったデザインや、地元農家で作った湘南小麦や大田地区の牛乳、伊勢原のフルーツが使用されていることが特徴です。(ネーミングは検討中。)

当日は、パンの発表を行ったあとに同パン屋が販売を行い、子どもたちによるパンの紹介や販売の手伝いが行われるほか、企画段階からパン屋さんへのプレゼンまでの過程が展示されます。

取材をご希望の際は、以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

1. 日時

2月17日(土) 10:00～

※販売開始は10:30～で、売り切れ次第終了となります。

2. 場所

大田公民館(下谷1474-1)

3. 当日までの流れ

令和5年11～12月 地域食材を使用したオリジナルパンを考案

12月中旬 ムール ア ラムール 本杉シェフへアイデアを提出

12月下旬 ムール ア ラムール 本杉シェフや地元農家へ手紙にてパン作りの協力依頼を行う

令和6年1～2月 ムール ア ラムール 本杉シェフによりアイデアが商品化される

担当・問い合わせ先

大田小学校 0463-95-1064